

Akashi College		Year	2019		Course Title	Introduction to building Construction	
Course Information							
Course Code	0017			Course Category	Specialized / Compulsory		
Class Format	講義・演習			Credits	Academic Credit: 2		
Department	Architecture			Student Grade	1st		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	内田祥哉、他:「建築構法第五版」市ヶ谷出版日本建築学会編著:「構造用教材」丸善						
Instructor	HIRAISHI Toshihiro,SHOJO Naoya,KAKUNO Yoshinori,MOTOZUKA Tomoki						
Course Objectives							
(1)建築構造を学ぶ意味について理解する (2)建築構造の種類とそれぞれの特性について理解する (3)部材の名称、構造の名称、柱・梁・床・屋根の構法名称など基本的な用語が使えるようになる (4)環境と建築について理解する (5)災害への備えと建築技術の変化について理解する							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	建築構造を学ぶ意味を十分に理解できる		建築構造を学ぶ意味を理解できる		建築構造を学ぶ意味を理解できない		
評価項目2	建築構造の種類とそれぞれの特性を十分に理解できる		建築構造の種類とそれぞれの特性を理解できる		建築構造の種類とそれぞれの特性を理解できない		
評価項目3	部材の名称、構造の名称、柱・梁・床・屋根の構法名称など基本的な用語をきっちりと使うことができる		部材の名称、構造の名称、柱・梁・床・屋根の構法名称など基本的な用語を使うことができる		部材の名称、構造の名称、柱・梁・床・屋根の構法名称など基本的な用語を使うことができない		
評価項目4	環境と建築の関係を十分に理解できる		環境と建築の関係を理解できる		環境と建築の関係を理解できない		
評価項目5	災害への備えと建築技術の変化を十分に理解できる		災害への備えと建築技術の変化を理解できる		災害への備えと建築技術の変化を理解できない		
Assigned Department Objectives							
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (F)							
Teaching Method							
Outline	建築物がどのようにして建っているかを学習するとともに、建築の基礎的な専門用語を理解する。また関連する諸分野の事項への関心を高めていく。演習を通じて、実践的な知識や技術の理解を深める。						
Style	1 週～8週 (担当: 荘所、角野) 講義形式による語句の解説などを中心とする。随時グループワークなどで、適切な構造について感覚を身につける。 構造の授業ではあるが、構造的に特徴のある建築物をたくさんみせることで、デザインと構造の関係性について知る機会をつくる。 適宜、講義に関連するレポートを課す。 9週～16週 (担当: 平石、本塚) 専門の導入教育として明石高専内の建物を調べ、これまで注意してこなかった建築物の欠陥や改善点を探る個人ワークとグループワークを行い。対話による情報の共有方法を身につける。 13週目からは講義形式で建築と環境、建築と災害について説明するとともに、建築の基礎について理解する。						
Notice	建築に関する基礎的な専門用語を確実に理解出来るようにする。建築や都市に関する日常的に得られる情報に関心を持ち、自分の考えをきちんとまとめ、発表できる力を身につけること。本科目は、授業で保障する学習時間と、予習・復習・課題レポート等に必要な標準的自己学習時間の総計が90時間に相当する学習内容である。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	建築を学ぶための心がまえについて。なぜ構造を学ぶのか。 風土と建築について		構造を学ぶことの意義について理解する。 風土と建築の関係を説明できる		
		2nd	建築構造の成り立ちについて 鋼構造(S造)の基礎		建築構造の成り立ちについて説明できる。 建築構造の分類ができる。 鋼構造の特徴、構造形式について説明できる。		
		3rd	鉄筋コンクリート構造(RC造)の基礎		鉄筋コンクリート構造の特徴、構造形式について説明できる。		
		4th	鉄骨鉄筋コンクリート構造(SRC造)、コンクリート充填鋼管構造(CFT造)、組積造(M造)の基礎		鉄骨鉄筋コンクリート構造、コンクリート充填鋼管構造、組積造の特徴、構造形式について説明できる。		
		5th	木造(W造)の基礎。特長・構造形式・接合方法の基礎・各部材の名称などについて		木造の特長・構造形式・接合方法の基礎・各部材の名称を説明できる。		
		6th	構造に関するグループワーク		部材の組み方をチームで議論して説明することができる。		
		7th	構造技術が突出した建築物や構造家について		構造技術が突出した建築物や構造家を挙げることができる。		
		8th	中間試験		7週目まで学んだことの到達度を測る		
	2nd Quarter	9th	建築に関わる仕事		建築に関連する仕事の多様性について説明することができる。		
		10th	明石高専の建築物の中で自分自身が「おかしい、変だな」と思う場所を探して写真をとり、何がおかしいかを説明する。		建築物の中で疑問に思うことを記録することができる。		
		11th	明石高専の建築物の中で自分自身が「おかしい、変だな」と思う場所をチームで共有する。		建築物の中で疑問に思うことをチームで紹介することができる。		
		12th	明石高専の建築物の中で自分自身が「おかしい、変だな」と思う場所をチームで発表する。		建築物の中で疑問に思うことを発表することができる。		

		13th	環境と建築	環境と建築について説明することができる。
		14th	環境と建築	環境と建築について説明することができる。
		15th	災害と建築	災害への備えと建築技術の変化について説明することができる。
		16th	期末試験	この授業で学んだことの到達度を測る

Evaluation Method and Weight (%)							
----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他（レポート・グループ課題）	Total
Subtotal	40	0	0	0	0	60	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	0	0	0	0	60	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0